

# 内原小学校だより

## 奉仕作業・運動会，たいへんお世話になりました。ありがとうございます

晴天のもと，盛大に第34回運動会を開催することができました。

親子奉仕作業に続いて，前日の運動会準備，当日の会場整理と，PTAの皆様には，一方ならぬお奉仕をいただきました。おかげさまで，整備されたグラウンドで，子どもたちは，力いっぱい演技をご披露することができました。

当日は，各学年の親子種目，PTA種目と，保護者の皆様にご参加いただく場面も数々ありました。また，児童の競技・演技では，最後まで，温かい声援をいただきました。子供たちにとって，楽しい思い出をまた一つ増やすことができました。



親子奉仕作業



親子種目



PTA種目

## 〈小林謙策氏(東京家庭教育研究所創設者)の語る自らの話〉

一部抜粋

自分は，中学校の校長をしていた。自分が負けず嫌いだったから，娘に対しても小さい時から「偉くなれ」と言って育ててきた。大きくなると，さらにその上に，「人よりも偉くなれ」と育てた。

小学校から高校まで，娘は順調に伸びていった。だが，東京の大学に進むと，そうはいかなかった。いくら努力しても自分より優れた人があまたいる。娘は絶望し，電車で身を投じた。

「両親の期待にそうができなくなりました。人生を逃避することはひきょうですが，いまの私にはこれよりほかに道はありません。」残された手紙にはそうあり，続けてこう書かれていた。

「お母さんほんとうにお世話さまでした。いま，私はお母さんに一目会いたい。会ってお母さんの胸に飛びつきたい。お母さんさようなら。」これを読んだ母は，狂わんばかりに娘の名を呼び号泣した。

子どもは這えば立ちたくなり，立てば歩きたくなり，歩けば飛びたくなる。これが子どもの自然の姿。子どもは無限の可能性をもって伸びようとしている。それなのに私はおろかにも，「人より偉くなれ」と言い続けてきた。「自分の最善をつくしなさい」だけで，娘は十分に伸びることができたはず。私は娘の死によって，家庭教育の重要性を痛感した。

内原小学校のホームページの更新も心がけています。機会がありましたらご参照ください。